

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【施策名：(1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 設計手法の見直し】

先防水の適用

概要：開削トンネル躯体側壁の防水工の施工方法を変更することで、工費を削減した。

効果

先防水施工とすることで、従来の後防水施工時に必要としていた、土留壁と躯体側壁との間の作業空間を大幅に縮減することができる。

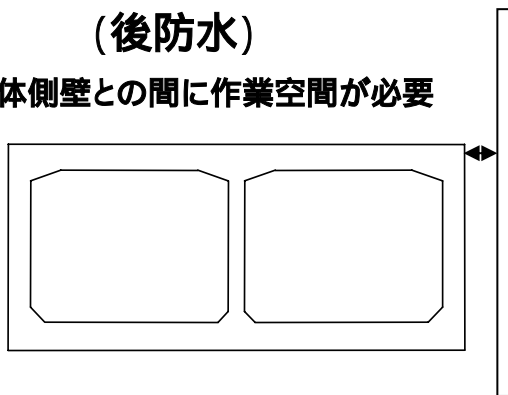
これにより、躯体側壁部の型枠数量の削減、掘削幅の縮減による土工数量の縮減が可能となった。

コスト縮減額 約75万円 / m × 924m = 約693百万円 減

コスト縮減前工法

(後防水)

土留壁と躯体側壁との間に作業空間が必要



コスト縮減後工法

(先防水)

土留壁と躯体側壁との間に作業空間が不要

